

## 「健康おの21」策定しました

～健康長寿を目指しさらなる健康づくりに取り組みます～

町では、生活習慣病の増加や過度のストレスを抱え、こころの健康を害する人の増加など、さまざまな健康課題などに対し、国や県の取り組みを踏まえ、さらなる健康づくりを推進するため、平成30年度を初年度とし平成34年度までの5年間の計画を定めた「健康おの21」(小野町健康増進計画)を策定しました。

### 町の健康状況

#### 医療費

小野町の国保加入者医療費総額  
平成28年度 約9億5千万円

被保険者が年々減少しているなか、  
1人当たりの医療費は増加傾向にあります。

#### 健診受診率・メタボリックシンドローム該当者

特定健診受診率(平成28年度)  
小野町39.9% 福島県40.9%  
※県内順位51位/59市町村中

特定健診の受診率は例年低い状況で、メタボリックシンドロームやその予備群に該当する人が増えています。  
(受診者の約3割)

#### 健康課題

##### 成人

##### 国保加入者医療費

循環器系疾患(高血圧症・脳血管疾患・虚血性心疾患)の割合が高く、主要死因をみると心疾患や脳血管疾患などの高血圧に起因する疾病が上位を占めています。

##### 町の死因順位(平成27年)

- 1位 悪性新生物(がん)
- 2位 心疾患
- 3位 脳血管疾患・肺炎

##### 子ども

##### 学童期の子どもの肥満

すべての学年で全国平均を上回っています。  
小6男子、小5女子は全国出現率の約3倍。小児肥満の子どものうち約70%が成人肥満に移行するといわれています。

##### 子どもの虫歯

有病率は、年齢が大きくなるにつれて高く推移。平成27年度は、1歳6か月児の虫歯有病率は約3%ですが、6歳では約80%と非常に高くなっています。

### 「健康おの21」基本目標 「一人ひとりの健康と生命を大切にする」

町民一人ひとりが自分の健康状態を把握して「自分の健康は、自分で守る」ことを実践できるように、本計画は、「一人ひとりの健康と生命を大切にする」を基本目標とし、町民の健康維持・増進を図ります。

### 「健康おの21」基本方針

#### (1)「生活習慣病の発症予防・重症化予防のための町民主体の健康づくり」

自分の健康状態を把握し、食生活や運動、適度な飲酒や禁煙などの日頃の生活習慣の維持・改善の重要性を町民一人ひとりが認識し、行動に移せることを目指します。

#### (2)「ライフステージに応じた健康づくり」

ライフステージに応じた健康づくりに自覚と関心を持ち、身体的にも精神的にも良好な状態を維持し生活の質を高めていくことを目指します。

#### (3)「連携と参加による健康づくり」

健康づくりに主体的に取り組める環境を整備し、生涯を住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう、町全体で相互に支え合いながら健康づくりのための環境づくりや地域の支え合いを推進していきます。